

令和7年度 こども園事業「認定こども園めぐたま」事業計画

1. こども園園児内訳

(1) 園児数

認定区分	0歳児	1・2歳児	満3歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計(人)
1号	—	—		2	3	5	10
2号	—	—		25	13	23	61
3号	3	30		—	—	—	33
計(人)	3	30	0	27	16	28	104

2. 保育目標

「自分大好き、仲間大好き、金山大好きな、生きる力にあふれる子ども」

- ◆ 自分大好き（自己認識）： ありのままの自分を愛する子ども
- ◆ 仲間大好き（他者認識）： 仲間の中で、自分らしさを発揮する子ども
- ◆ 金山大好き（環境認識）： ふるさと金山を愛する子ども

3. 重点実施事項

- (1) 保育の質的向上: チームの最上位目標を設定しそこに向けて手段(環境、行事、遊び等)を精査していく
- (2) インクルーシブ保育: 児童発達支援と連携し、個別支援計画に基づき保育者と児童指導員が協働しながら、きめ細かい支援を行う
- (3) 環境づくり: 室内外の環境改造、園庭大型遊具及び裏山の整備、保護者や荒屋地域との協業
- (4) 組織目標: 「最上位目標の設定」「民主的な関係性」
自己決定と自己責任、解放感と責任感のある自主・自立・自律的な組織風土の形成、当事者性の向上、予算と意思決定権を現場へ移譲、上司部下のない組織、民主的な意思決定技術の修得
- (5) 地域を巻き込んだ園運営: めごたまこども縁日の開催、常設マルシェ等の開設

令和7年度 一時預り事業 事業計画

1. 一時預り事業の運営方針

- (1) 対 象 保護者の傷病、家族の看護、冠婚葬祭、事故等により、緊急に家庭での育児が困難となる場合。または、保護者の育児に伴う心理的、肉体的負担を軽減・解消するために必要な場合。金山町での長期滞在を希望する家庭など。
- (2) 運営時間 8:00～16:00（早朝、延長保育が必要な場合は要相談）
- (3) 利用期間 月10回の利用を限度とする
- (4) 場 所 「めばえの森」「神室ヴィレッジ」

2. 保育内容

- ・ 園に親しみ、安心して過ごすことができるよう配慮する
- ・ 季節の遊びや好きな遊びに夢中になれるような環境設定をする
- ・ 周りの子ども達との関わりを大切に見守る
- ・ 金山の歴史伝統文化や自然環境を親子で楽しむ機会を提供する

3. 運営目標

「何らかの理由により過重な育児負担を感じている保護者に対し、その育児負担を一時的にでも救済し、その後の子育てに前向きに取り組めるよう共感的に支援していく」

「金山町での長期滞在を通して、子育てや働き方に対する新たな気づきを提供する」: 保育園留学の実施

令和7年度 放課後児童健全育成事業(委託)「めごたま学童クラブ」事業計画

1. 学童保育事業の運営

- (1) 対 象 小学校下校後、家庭で保育することができない児童
- (2) 運営時間 下校後から18:30まで 学校休業日(土曜日、代休日、長期休業日等)
- (3) 料 金 価格改定済み
- (4) 場 所 「めばえの森」「神室ヴィレッジ」

2. 事業内容

- (1) 生活習慣を整え、生活態度を確立させる
- (2) 健全な遊びや社会経験を通して、心身の発達と社会性を養う
- (3) 地域文化や動植物に親しみ、具体的な労働体験を積み重ねる
- (4) 異年齢集団での生活習慣と自主自立の精神を培う(学童まつりの開催など)

3. 運営目標

「放課後を家庭で過ごすことのできない児童に対し、豊かな遊びと学びの場を提供すると共に地域の子ども達の自主的自発的な遊びの場(プレーパーク)として開放する」

インクルーシブ保育:放課後等デイサービスと連携し、個別支援計画に基づき児童指導員と学童指導員が協働しながら、きめ細かい支援を行う

令和7年度 障害児通所支援事業「セラピーファームめごたま」事業計画

1. 障害児通所支援事業の運営

- (1) 対 象 児童発達支援事業(0～5才) 放課後等デイサービス(6～18才) 定員10名
- (2) 運営時間 平休日 9:00～17:00
- (3) 場 所 「認定こども園めごたま」「めばえの森」「神室ヴィレッジ」

2. 公益及び収益事業の運営

- (1) 地域社会への貢献及びその公益に資する事業
 - (イ) ホースセラピー普及啓発事業
 - (ロ) 障害児等、生きることの困難を抱えている方の居場所づくり事業
- (2) 収益を福祉事業もしくは公益事業の経営に充てることを目的とする収益事業
 - (イ) 事業承継を目的とした賃貸借事業

3. 運営目標

インクルーシブ保育:こども園・学童保育と連携し、個別支援計画に基づき児童指導員と保育者が協働しながら、きめ細かい支援を行う

ホースセラピー:平日の子どものファーム利用者を増やし、馬と関わる機会をより多く提供していく
年齢、性別、障害、人種、宗教などの壁を越えて協力し合い共存している社会。命のつながりの中で生かされ、命をつなぐために生きるという価値観を地域循環型社会の中で子ども達に伝えていく